

一般社団法人 日本ショッピングセンター協会
2024年度夏季定例記者懇談会

資 料

日 時 2024年 8月7日(水)16:30~17:50
 場 所 ホテルメトロポリタンエドモント 2階「万里」

I. 2024年上期(1~6月) SC業界の動向	
1. SC販売統計調査報告	2
2. オープンSCの概要と特徴	3
3. SCの取り組み紹介	6
II. 2024年下期(7~12月) オープン予定のSC等商業施設	7
III. 協会の主な取り組み	
1. 第10回日本SC大賞・第8回地域貢献大賞	11
2. 人材確保の取り組み	
(1)人材確保対策特別委員会	15
(2)デジタルトランスフォーメーション委員会	19
IV. その他協会活動トピック	
1. 第30回SC接客ロールプレイングコンテスト	22
2. SCビジネスフェア2025	24
3. SC経営士会	25
別 添	・第10回日本SC大賞・第8回地域貢献大賞 募集のご案内 ・【2024年度版】ショッピングセンターにおける売上報告の効率化に向けた提言 ・SC白書2024/月刊誌「SC JAPAN TODAYのご案内」
	他

※資料内では、SC=ショッピングセンターと表現しています。

<お願い>

本資料の内容を記事にいただいた場合は、お手数ですが協会事務局まで掲載誌・紙をお送りください。

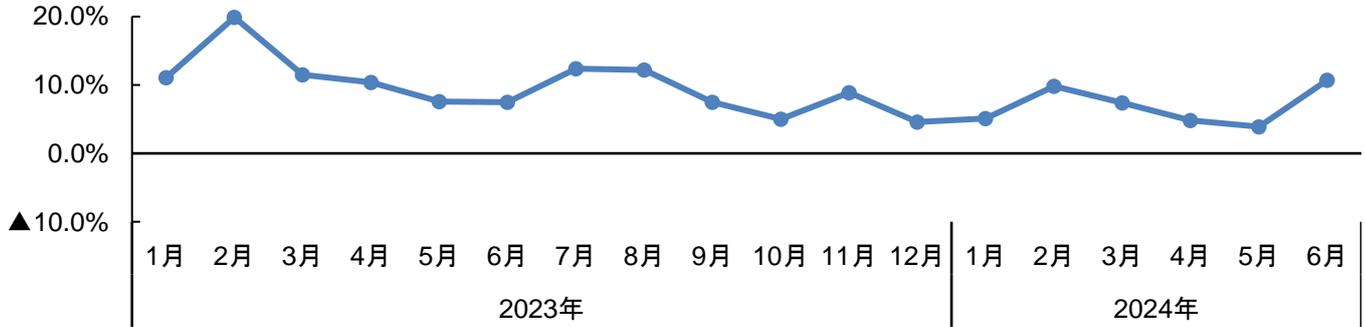


一般社団法人
 日本ショッピングセンター協会

I. 2024年上期SC業界の動向 1. SC販売統計調査報告

2024年上期(1~6月)SC販売動向
大都市を中心にインバウンド客の来館が増加し、前年を上回る

(1) 既存SC売上高の前年同月比伸長率の推移



	2023年												2024年						[%]
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
SC 総合	11.1	19.9	11.5	10.4	7.6	7.5	12.4	12.2	7.5	5.0	8.9	4.6	5.1	9.8	7.4	4.8	3.9	10.7	
テナント/ キテナント別	テナント	12.6	23.8	13.0	11.5	8.3	8.8	13.8	13.4	8.1	5.2	10.5	5.3	5.9	11.0	7.6	5.3	4.1	11.6
	キテナント	5.2	6.9	5.5	6.3	4.7	3.9	7.6	7.7	5.5	4.0	3.5	2.2	1.9	5.4	6.5	2.8	3.1	7.4
都市規模別	大都市	14.5	24.5	16.5	13.7	10.5	11.9	16.3	17.8	11.3	7.8	10.7	6.7	7.6	10.9	9.3	7.1	7.5	11.6
	その他都市	8.8	16.6	7.7	7.9	5.4	4.4	9.2	8.1	4.5	2.7	7.5	2.9	3.2	8.8	5.7	2.8	0.9	9.8
立地別	中心地域	16.5	28.7	18.2	13.8	11.5	11.8	17.4	18.9	12.8	7.1	11.5	6.8	7.9	12.3	8.9	7.7	7.8	11.8
	周辺地域	9.0	16.1	8.3	8.8	5.8	5.9	10.3	9.4	5.1	4.0	7.8	3.5	3.9	8.6	6.6	3.4	2.0	10.1

大都市 札幌市・仙台市・さいたま市・千葉市・東京都区部・川崎市・横浜市・名古屋市・京都市・大阪市・神戸市・広島市・福岡市・北九州市
中心地域 人口15万人以上の都市で、商業機能が集積した中心市街地 **周辺地域** 中心地域以外の地域

(2) 2024年上期・各月の概況

月	伸長率前年比	概況
【1月】	5.1%	全国的に暖冬となったことで、冬物衣料の動きが鈍かったSCが多かった。初売りやセールで一時的に盛り上がりを見せたものの、月を通してその勢いが持続しなかったとの声がかかれた。そのようななか、飲食業種が新年会などのグループ利用で売上げを牽引し、前年超えとなった。
【2月】	9.8%	うるう年により営業日数、休日日数が前年に比べて1日多かったことや、春節が2月になったこと、また3連休が2回あったことで国内外旅行客の来館者が増え、前年を上回った。立地別にみると、中心地域は総合で+12.3%、周辺地域は+8.6%となった。なかでも中心地域の大都市がインバウンド客などの来館により、とくに好調だった。
【3月】	7.4%	全国的に中旬まで気温が低く春物衣料の動きの鈍かったSCが多かったが、新生活需要による雑貨の高稼働や春休み、卒業式、送別会需要による飲食利用が売上げを牽引し、前年超えとなった。前年に比べて休日が2日多かったことや、館内イベント、カード施策などの販促活動が来館者数の増加に寄与した。
【4月】	4.8%	前年に比べて休日日数が1日少なかったものの、月後半からの気温上昇による季節商材の稼働や、ゴールデンウィークに伴う旅行客、帰省客の来館によって、前年を上回った。立地別にみると、中心地域は総合で+7.7%、周辺地域は+3.4%となった。なかでも中心地域・大都市がインバウンド客などの来館により好調だった。
【5月】	3.9%	前年に比べて休日が1日少なかったものの、気温上昇による夏物商材の稼働、大都市を中心にインバウンド客の来館者が増加したことにより、前年を上回った。立地別にみると、中心地域は総合で+7.8%、周辺地域は+2.0%となった。なかでも中心地域・大都市がインバウンド客などの来館により好調だった。
【6月】	10.7%	前年に比べて休日日数が2日多かったことで売上増につながったSCが多かった。また、梅雨入りが例年より遅れたこと、その間の気温上昇で夏物商材が稼働したことにより、2桁伸長となった。立地別にみると、中心地域は総合で+11.8%、周辺地域は+10.1%と、ともに2桁伸長となった。

既存SC売上高前年同月比伸長率の時系列データ「統計データベース」を公開中
<https://www.jcsc.or.jp/membership/statistics.html>



I. 2024年上期SC業界の動向 2. オープンSCの概要と特徴

2024年上期(1~6月)オープンSC(速報)

店舗面積1万㎡未満のSCが約9割。テナントは衣料品が大幅に減り、業種構成が大きく変化

(1) 2024年上期(1~6月)オープンSC

オープンSC数			平均店舗面積 (㎡)	平均テナント数 (店舗)
中心 地域	周辺 地域			
17	2	15	6,746	31

中心地域 人口15万人以上の都市で、商業機能が集積した中心市街地
周辺地域 上記以外の地域

(2) 都道府県別オープンSC数

4SC	東京
2SC	神奈川、愛知

(3) オープンSCの過去年比較

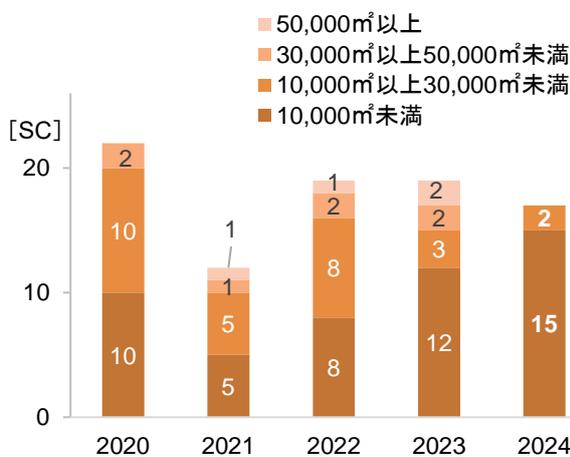
① オープンSC数・平均店舗面積・平均テナント数(1~6月)

	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
オープンSC数	22	12	19	19	17
平均店舗面積 (㎡)	15,171	17,999	17,566	17,102	6,746
平均テナント数 (店舗)	57	56	49	52	31

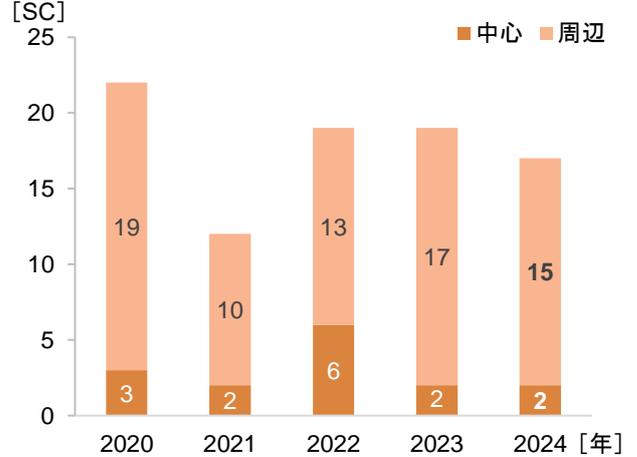
【参考】

2023年(年間)オープンSCデータ
オープンSC数 34SC
平均店舗面積 17,168㎡
平均テナント数 48店舗

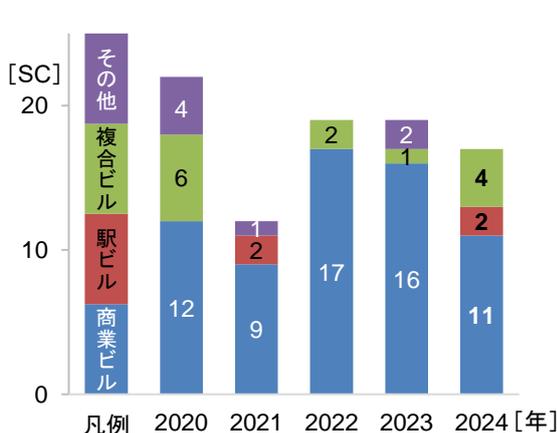
② 店舗面積別(1~6月)オープンSC数



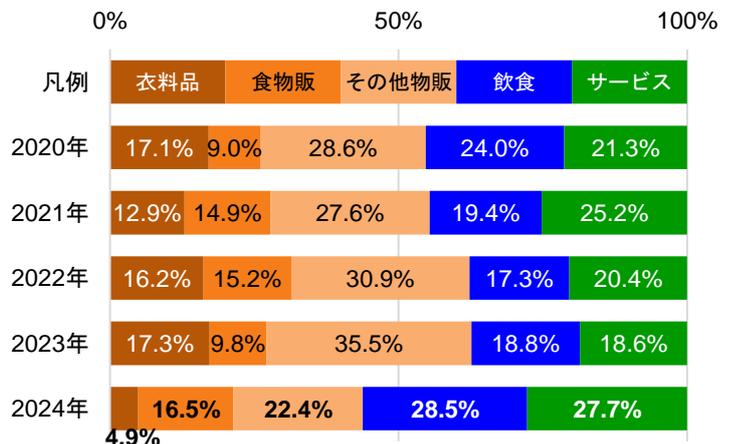
③ 立地別(1~6月)オープンSC数



④ ビル形態別オープンSC数(1~6月)



⑤ オープンSCのテナント数業種別構成比(1~6月)



(4) 2024年上期(1~6月)オープンSC一覧

(オープン日順、8月1日時点速報版)

No	SC名	所在地	立地	ディベロッパー	店舗面積 (m ²) ^{注1}	テナ 数	キーテナント	オープン日 ^{注2}
1	虎ノ門ヒルズステーションタワー	東京都港区	周辺	森ビル(株)	11,200	80		2月
2	三井ショッピングパークららテラス HARUMI FLAG	東京都中央区	周辺	三井不動産(株)、 三井不動産商業マネジメント(株)	10,100	39	サミットストア ららテラス HARUMI FLAG店	3月1日
3	ROKKO i PARK	兵庫県神戸市東灘区	周辺	大栄環境(株)	8,319	11	ヤマダストア 六甲アイランド店	3月1日
4	くるふ福井駅	福井県福井市	中心	金沢ターミナル開発(株)	3,754	43		3月16日
5	コープ調布染地店	東京都調布市	周辺	生活協同組合コープみらい	2,648	15	コープ調布染地店	3月19日
6	TAKAMATSU ORNE (タカマツ オルネ)	香川県高松市	周辺	JR四国ステーション開発(株)	8,800	51		3月22日
7	そよら鈴鹿白子	三重県鈴鹿市	周辺	イオンリテール(株)	7,690	11	イオンスタイル 鈴鹿白子	3月28日
8	イオンタウン浜松新橋	静岡県浜松市中央区	周辺	イオンタウン(株)	5,190	10	マックスバリュ 浜松新橋店	3月29日
9	iiNE マルシェ	愛知県名古屋市瑞穂区	周辺	中電不動産(株)、 株プライムプレイス	4,500	13		4月3日
10	クロス向ヶ丘	神奈川県川崎市多摩区	周辺	野村不動産(株)、 野村不動産コマース(株)	6,771	12	イオンフード スタイル向ヶ 丘店、 ノジマ クロス 向ヶ丘店	4月5日
11	東急プラザ原宿「ハラカド」	東京都渋谷区	中心	東急不動産(株)、 東急不動産SCマネジメント(株)	7,459	71		4月17日
12	中日ビル	愛知県名古屋市中区	周辺	中部日本ビルディング(株)	5,734	92		4月23日
13	そよら横浜高田	神奈川県横浜市港北区	周辺	イオンリテール(株)	5,041	12	イオンスタイル 横浜高田	4月26日
14	TOKUYAMA DECK (徳山デッキ)	山口県周南市	周辺	株パークタウン商業運営	6,542	25		4月
15	ゆめモール合志	熊本県合志市	周辺	株イズミ	5,400	15	ゆめマート合志	5月23日
16	イオンタウン日田ショッピングセンター	大分県日田市	周辺	イオン九州(株)	9,732	12	ザ・ビッグ 日田店	6月27日
17	そよら金剛	大阪府大阪狭山市	周辺	イオンリテール(株)	5,800	22	イオンスタイル 金剛	6月28日
					(店舗面積計) 114,680 m ²			

注1：各SCの店舗面積は小数点以下を四捨五入した値であるため、店舗面積計と各SCの店舗面積を合計した値は必ずしも一致しない。また概数を含む。

注2：オープン日は原則として施設がSCの定義に該当した日を記載している。

(5) 2024年上期(1~6月)オープンSCの主な特徴

キーワード1 『新たな体験価値の創出と世界に向けた情報発信』

体験価値の充実を図るSCが増加し、とくに国際都市・東京のSCでは、新しいカルチャーを創出し、世界に向けて発信する動きがみられます。

虎ノ門ヒルズ ステーションタワー (東京都港区)



最上部には約 10,000 m²の情報発信拠点「TOKYO NODE」が誕生。ビジネス、アート、エンターテインメント、テクノロジー、ファッションなど、領域やジャンルを超えてさまざまなコラボレーションを促進。新たな体験や価値、コンテンツや情報を創出し、東京から世界に向けて発信しています。

画像提供：森ビル㈱

東急プラザ原宿「ハラカド」 (東京都渋谷区)



原宿・神宮前エリアを世界に向けた文化創造・発信拠点とするためのまちづくりの核として開業。感度の高いヒト・モノ・コトと「出会う」「つながる」「体験する」「楽しむ」を掛け合わせた個性的な約75店舗が出店。ポップアップ・OOHを超えた新しい体験型メディアを実装しています。

画像提供：東急不動産㈱

キーワード2 『環境にやさしい施設づくり』

サステナブル社会の実現に向けて、再生可能エネルギーの導入、リサイクルの推進など、環境にやさしい施設づくりに力を入れるSCが目立ちます。

三井ショッピングパーク ららテラス HARUMI FLAG (東京都中央区)



サステナブル社会の実現に向けて、太陽光パネルの設置、水素エネルギーを活用した電力供給など、環境に対して負荷が少ない再生可能エネルギーを積極的に導入し、BELS(建築物省エネルギー性能表示制度)に基づく評価にて「ZEB Oriented(物販等)」認証を取得しています。

画像提供：三井不動産㈱

ROKKO i PARK (兵庫県神戸市東灘区)



脱炭素化と循環型社会に向けた新たな価値を提供し、2050年のカーボンニュートラル実現に貢献。環境に配慮した資源循環型商業施設の実現により、地域社会への貢献だけでなく、これからの商業の新しい価値を創造していくような新たなライフスタイル提案施設を目指します。

画像提供：大栄環境㈱

I. 2024年上期 SC 業界の動向 3. SC の取り組み紹介

令和6年能登半島地震

～復旧、そして広がる復興応援の輪～

2024年1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」では、震源地である石川県を中心に甚大な被害をもたらしました。今回の地震で被害を受けた SC や店舗も多く、今なお復旧作業が続いているところもあります。SC や専門店においては、被災地の復興を応援するさまざまな取り組みが行われています。

事例紹介)

<SC (ショッピングセンター)>

アル・プラザ津幡

(石川県河北郡津幡町／運営：(株)平和堂)



地震により2階の天井などが破損し、同フロアの営業を休止していたが復旧工事を終えて全館営業を再開。全館再開の際には、輪島市の海産物や輪島塗など10店舗が出店する「出張輪島朝市」を開催しました。

画像提供：(株)平和堂

フューチャーシティ ファボーレ

(富山県富山市／運営：富山フューチャー開発(株))



地震により「太陽の広場」の天井の鉄骨柱の一部が崩落する被害を受けたが、耐震性強化工事を行い3月1日に広場を再開。被災地応援として、能登半島地震復興支援チャリティコンサートなどを開催しました。

画像提供：(株)北日本新聞社

<専門店>

(株)ゴーゴーカレーグループ



「令和6年能登半島地震復興ゴーゴープロジェクト」を発足し、約7.6万食のレトルトカレー等の寄付、被災地および避難所での炊き出しによるカレーの提供、復興応援商品のネット販売などを実施しました。

画像提供：(株)ゴーゴーカレーグループ

(株)イオンファンタジー



3月7日に地震で被災された子どもたちが通う輪島市内の保育園2カ所を訪問し、62名の子どもたちとゲームやクイズ、ダンスなど楽しいイベントの時間を過ごし、「えがお」を届けました。

画像提供：(株)イオンファンタジー

令和6年能登半島地震に伴う義援金

義援金総額 656万3964円を日本赤十字社に寄付

当協会は、会員各社に対して、「令和6年能登半島地震」で被災された方々へ向けての義援金の募集を実施。2024年1月24～26日に開催した「第48回日本ショッピングセンター全国大会」会場で実施した募金と合わせて、6,563,964円を2024年3月8日に日本赤十字社に寄付いたしました。

「令和6年能登半島地震」により被災された皆様にご心からお見舞い申し上げます。
一日も早い復旧、復興をお祈りいたします。

II. 2024年下期 オープン予定のSC等商業施設

2024年下期(7~12月)オープン予定のSC等商業施設

18施設がオープン予定。来年の万博開催をひかえた大阪が最多の4施設

(1) 2024年下期(7~12月)オープン予定のSC等商業施設一覧

(オープン予定日順、8月1日時点速報版)

No	SC名等	所在地	店舗面積等 (㎡)	ディベロッパー	オープン 予定日
1	monaka	岩手県盛岡市	5,656	(株)モナカ	7月11日
2	そよら福井開発	福井県福井市	5,264	イオンリテール(株)	7月13日
3	そよら成田ニュータウン	千葉県成田市	約 35,730	イオンリテール(株)	7月19日
4	Shibuya Sakura Stage	東京都渋谷区	約 15,201	渋谷駅桜丘口地区市街地再開発組合、 東急不動産(株)	7月25日
5	ゆめが丘ソラトス	神奈川県横浜市 泉区	約 42,700	(株)相鉄アーバンクリエイツ、 (株)相鉄ビルマネジメント	7月25日
6	KITTE 大阪	大阪府大阪市 北区	約 16,000	日本郵政不動産(株)、 JPビルマネジメント(株)	7月31日
7	皿倉テラス	福岡県北九州市 八幡東区	2,629	(株)スピナ	7月
8	Paix Paix (ペッペ)	福島県いわき市	6,735	真砂不動産(株)	8月
9	フォルテ桐生市場店	群馬県みどり市	4,081	(株)ベルク	8月
10	アクロスプラザ住之江	大阪府大阪市 住之江区	7,400	大和ハウスリアルティマネジ メント(株)	8月
11	グラングリーン大阪 ショップ&レストラン 北館	大阪府大阪市 北区	約 2,640	阪急電鉄(株)、 阪急阪神ビルマネジメント(株)	9月6日
12	エミテラス所沢	埼玉県所沢市	約 43,000	(株)西武リアルティソリューションズ、 住友商事(株)	9月24日
13	枚方モール	大阪府枚方市	16,730	京阪ホールディングス(株)	9月
14	長崎スタジアムシティ	長崎県長崎市	9,518	(株)ジャパネットホールディングス	10月14日
15	三井アウトレットパーク マリニピア神戸	兵庫県神戸市 垂水区	約 30,000	三井不動産(株)	11月
16	フォレストモール黒川駅前	神奈川県川崎市 麻生区	2,762	(株)フォレストモール	11月
17	イオン旭川春光ショッピ ングセンター	北海道旭川市	約 6,000	イオン北海道(株)	秋
18	小田急相模原 NSC	神奈川県相模原市 南区	3,533	東京建物(株)	12月

※表中データは既にオープンしたSCも含む。

※全ての商業施設がSCの基準を満たすかどうか現時点では不明であるため、「SC等商業施設」としている。

※開業予定は大店立地法届出情報、各企業発表の内容等にもとづく。

※オープン予定のため面積は店舗面積等とした。

monaka
(7月11日開業／岩手県盛岡市)



画像提供：㈱モナカ

そよら成田ニュータウン
(7月19日開業／千葉県成田市)



画像提供：イオンリテール㈱

ゆめが丘ソラトス
(7月25日開業／神奈川県横浜市泉区)



画像提供：㈱相鉄アーバンクリエイツ
㈱相鉄ビルマネジメント

KITTE 大阪
(7月31日開業／大阪府大阪市北区)



撮影：伊藤 彰/アイフォト
画像提供：日本郵政不動産㈱

エミテラス所沢
(9月24日開業／埼玉県所沢市)



画像提供：㈱西武リアルティソリューションズ

長崎スタジアムシティ
(10月14日開業／長崎県長崎市)



画像提供：㈱ジャパネットホールディングス

(参考) 2023年末のSC概況

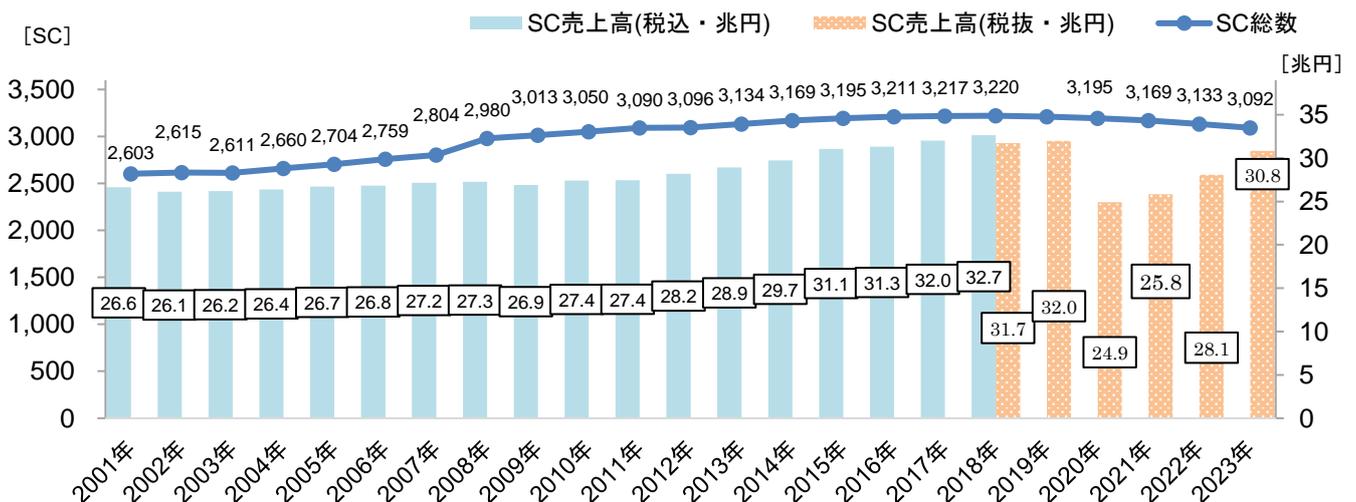
図表 1-1 SC総数、店舗面積等の推移

年 (暦年)	SC総数	総テナント数 (店)	総キーテナント数 (店)	平均 テナント数 (店)	総店舗面積 ^{注1} (㎡)	平均 店舗面積 (㎡)	SC年間 総売上高 ^{注2} (百万円)
2010	3,050	149,420	2,715	49	44,179,274	14,514	27,411,000
2011	3,090	151,462	2,728	49	45,697,455	14,789	27,439,800
2012	3,096	151,774	2,730	49	46,399,010	14,987	28,187,600
2013	3,134	154,659	2,771	49	47,869,188	15,274	28,920,900
2014	3,169	157,164	2,865	50	49,760,294	15,702	29,738,500
2015	3,195	159,131	2,908	50	50,770,809	15,891	31,077,900
2016	3,211	159,066	2,931	50	51,724,612	16,109	31,325,900
2017	3,217	160,591	2,936	50	52,531,060	16,329	32,035,500
2018	3,220	161,960	2,928	50	53,193,597	16,520	32,659,500
2019	3,209	163,437	2,916	51	53,651,811	16,719	31,969,400
2020	3,195	163,613	2,927	51	53,991,842	16,889	24,901,600
2021	3,169	163,992	2,901	52	54,302,789	17,136	25,839,200
2022	3,133	164,653	2,889	53	54,350,047	17,348	28,089,700
2023	3,092	163,712	2,876	53	54,413,963	17,598	30,826,000

注1 店舗面積は、SC内の物品販売業、飲食業、サービス業それぞれの店舗区画の面積。店舗間の通路は含まない。

注2 SC年間総売上高は、協会が毎月実施しているSC販売統計調査から得られたSCの面積あたりの年間販売額の推計値を基に算出した値。2018年までは消費税込、2019年以降は消費税抜。

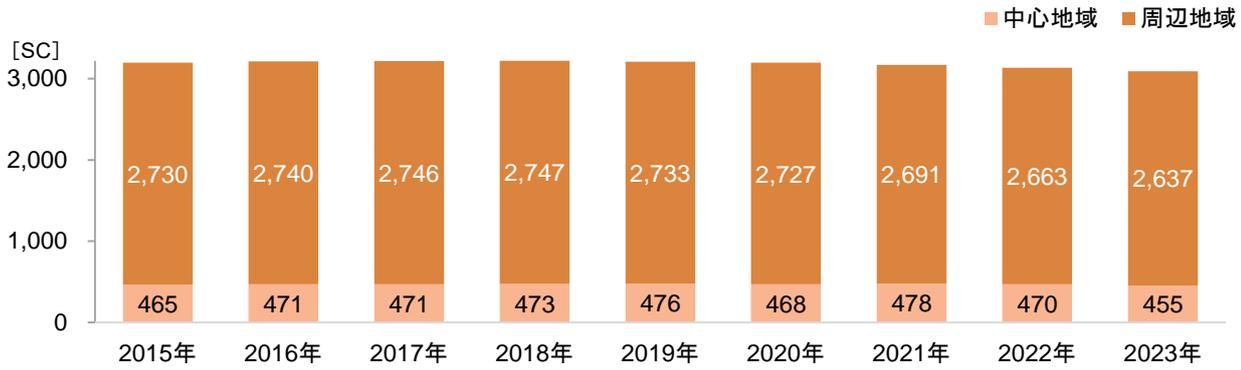
図表 1-2 SC総数と年間総売上高の推移



注 SC年間総売上高については、図表 1-1 の注 3 参照。

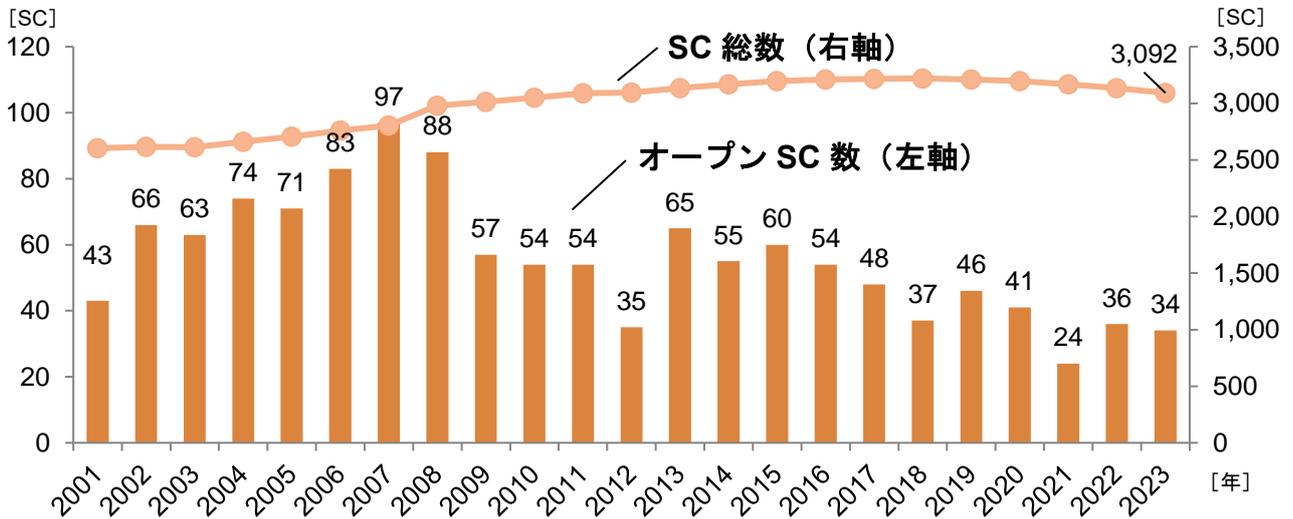


図表 1-3 立地別 SC 数の推移

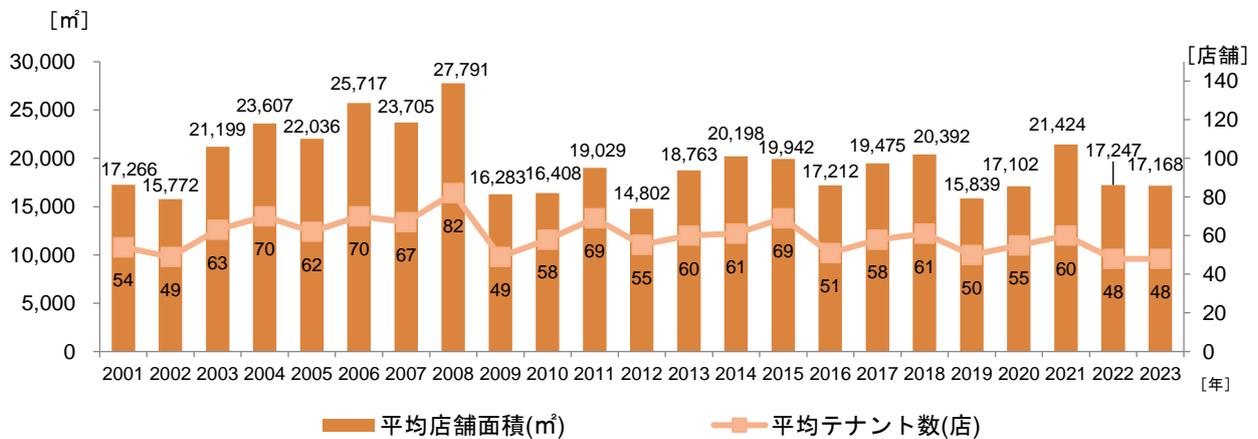


[立地区分] **中心地域** 人口15万人以上の都市のうち、商業機能が集積した中心市街地
周辺地域 上記以外の地域

図表 2-1 新規オープン SC 数および SC 総数の推移



図表 2-2 オープン SC の平均店舗面積・テナント数の推移



Ⅲ. 協会の主な取り組み 1. 第10回日本SC大賞・第8回地域貢献大賞

第10回日本SC大賞・第8回地域貢献大賞

～7月よりエントリーSCの募集を開始、2025年4月に各賞が決定～

「第10回日本SC大賞・第8回地域貢献大賞」のエントリーSCの募集を7月より開始しました。募集期間は7月16日(火)～8月31日(土)です。

各賞の発表は2025年4月、表彰式は2025年5月(予定)の「第53回定期総会」にて執り行います。



「日本SC大賞・地域貢献大賞」とは

「日本SC大賞」は、協会創立30周年を記念して、これからのショッピングセンター(SC)のあり方を示唆し社会的役割を果たしているSCを顕彰し、SC業界の一層の発展に寄与することを目的として2004年に創設しました。なお「金賞(大賞)」受賞SCには、経済産業省より「商務・サービス審議官賞」が同時に授与されます。

「地域貢献大賞」は、当協会が策定した「地域貢献ガイドライン」(2007年1月、2020年3月一部改訂)を基に、地域活性化に取り組み、地域のコミュニティの核として地域住民の生活に欠かせない地位を築いているSCを顕彰することを目的に、2008年に創設しました。特に地域貢献に優れたSCにつきましては、協会2代目会長でSC業界の礎を築いた故倉橋良雄氏の名前を冠した「倉橋良雄賞」を授与します。さらに特に優れた「まちづくり」に貢献しているSCには国土交通省から「都市局長賞」が授与されます。

<概要>

選考対象と評価期間

選考対象：2023年12月末までにオープンした全国の3,092SC (当協会の会員、会員外は問いません)

評価期間：2022年7月～2024年6月までの2年間

スケジュール(予定)

募集期間：**2024年7月16日(火)～8月31日(土)**

発表：2025年4月

表彰式：2025年5月(予定)

第10回SC大賞・第8回地域貢献大賞特設サイト
https://www.jcsc.or.jp/sc_support/scawards



【参考】第9回日本SC大賞・金賞／第7回地域貢献大賞（倉橋良雄賞）受賞SC



第9回日本SC大賞・金賞
経済産業省商務・サービス審議官賞
『新静岡セノバ』



第7回地域貢献大賞（倉橋良雄賞）
国土交通省都市局長賞
『SAKURA MACHI Kumamoto』

＜日本SC大賞・歴代受賞SC＞

※SC名・賞名は受賞当時のもの、()内は推薦(ノミネート)支部名

日本SC大賞	金賞	銀賞	銅賞
第9回	★新静岡セノバ(中部) <経済産業省商務・サービス審議官賞>	★ELM(エルム)(東北)	★MARK IS みなとみらい(関東・甲信越)
第8回	★二子玉川ライズ・ショッピングセンター(関東・甲信越)	★ルクアノルクアイーレ(近畿)	JRタワー(アピア・エスタ・パセオ・ステラブレイス)(北海道)
第7回	★御殿場プレミアム・アウトレット(中部)	★渋谷ヒカリエ(関東・甲信越)	★イオンレイクタウン(関東・甲信越)
第6回	★テラスモール湘南(関東・甲信越)	★JR博多シティ(アミュプラザ博多)(九州・沖縄)	★軽井沢・プリンスショッピングプラザ(関東・甲信越)
第5回	★阪急西宮ガーデンズ(近畿)	★ルミネエスト店(関東・甲信越)	★エスパル仙台店(東北)
第4回	★ラゾーナ川崎プラザ(関東・甲信越)	★パークプレイス大分(九州・沖縄)	★イオンモール岡崎(中部) ★天王寺ミオ(近畿)
第3回	★ららぽーとTOKYO-BAY(関東・甲信越)	★アミュプラザ鹿児島(九州・沖縄)	★モリタウン(関東・甲信越)
第2回	★ルミネ横浜(関東・甲信越)	★札幌ステラブレイス(北海道) ★御殿場プレミアム・アウトレット(関東・甲信越)	★アトレ恵比寿(関東・甲信越) ★イオン岡崎ショッピングセンター(中部) ★HEP FIVE(近畿)
第1回	★玉川高島屋ショッピングセンター(関東・甲信越)	★ファッションドーム141(東北) ★TOKYO-BAY LaLaport(関東・甲信越)	—

＜部門賞＞

第9回	<p>＜部門賞＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ニューフェイス賞：グランベリーパーク(関東・甲信越) ◆リノベーション賞：スマーク伊勢崎(関東・甲信越) ◆ES賞：ピオレ姫路(近畿) ◆特別賞：VISON(ヴィゾン)(中部) ◆50周年記念特別賞：渋谷PARCO(関東・甲信越)
第8回	<p>＜部門賞＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ニューフェイス賞：ギンザシックス(関東・甲信越) ◆リノベーション賞：ニッケパークタウン(近畿) <p>＜ES賞＞◆JRタワー(アピア・エスタ・パセオ・ステラブレイス)(北海道) ◆新静岡セノバ(中部)</p> <p>＜特別賞＞◆南三陸さんさん商店街(東北)</p>
第7回	<p>＜部門賞＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ニューフェイス賞：モリパークアウトドアヴィレッジ(関東・甲信越) ◆リノベーション賞：金沢百番街(中部) <p>＜ES賞＞◆イクスピアリ(関東・甲信越)</p> <p>＜特別賞＞◆オガールプラザ・オガールベース(東北)</p>

第6回	<p><部門賞></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ニューフェイス賞：グランフロント大阪 ショップ&レストラン（近畿） ◆リノベーション賞：くずはモール（近畿） <p><特別賞></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆おのだサンパーク（中国・四国）◆コロド室町（関東・甲信越）◆渋谷ヒカリエ（関東・甲信越）
第5回	<p><部門賞></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ニューフェイス賞：テラスモール湘南（関東・甲信越） ◆リノベーション賞：江釣子ショッピングセンター・パル（東北） ◆景観賞：なんばパークス（近畿） <p><40周年記念>◆SHIBUYA109（関東・甲信越）</p> <p><特別賞>◆御殿場プレミアム・アウトレット（中部）</p>
第4回	<p><部門賞></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ニューフェイス賞：阪急西宮ガーデンズ（近畿） ◆エコロジー賞：イオン大日ショッピングセンター（近畿） ◆リノベーション賞：該当なし ◆空間デザイン賞：箕面マーケットパーク ヴィソラ（近畿）
第3回	<p><部門賞></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆リ・ボーン賞：エスト（近畿） ◆景観賞：星が丘テラス（中部） ◆人にやさしいSC賞：イオンモール下田（東北） ◆ニューフェイス賞：ラゾーナ川崎プラザ（関東・甲信越）、高松丸亀町呑番街（中国・四国）
第2回	<p><部門賞></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆コミュニティ貢献賞：ファッションドーム141（東北） ◆ブランディング賞：SHIBUYA109（関東・甲信越） ◆タウンリノベーション賞：丸ビル（関東・甲信越） ◆リノベーション賞：京阪モール（近畿） ◆サイン&デベロップ賞：ダイヤモンドシティテラス（近畿） ◆副都心振興賞：アルパーク（中国・四国） ◆マルチメディアコンプレックス賞：イムズ（九州・沖縄）
第1回	<p><特別賞></p> <ul style="list-style-type: none"> <環境特別賞>イオングループSC（イオン㈱、イオンモール㈱）（関東・甲信越） <CS特別賞>ルミネ（㈱ルミネ）（関東・甲信越） <p><部門賞></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆マーチャндаイジング：パセオ（北海道） ◆マーケティング：江釣子ショッピングセンター・パル（東北） ◆まちづくり：香林坊アトリオ（中部） ◆ふれあい・わくわく空間づくり：ギャレザグレードアウトドアーズ大阪（近畿） ◆地域活性化：シーモール下関ショッピングセンター（中国・四国） ◆ローコスト運営：アミュプラザ長崎（九州・沖縄）

<地域貢献大賞・歴代受賞SC>

第7回	地域貢献賞	大賞（倉橋良雄賞） 国土交通省都市局長賞	SAKURA MACHI Kumamoto（九州・沖縄）
		北海道	イオンモール苫小牧
		東北	イオンモールいわき小名浜
		関東・甲信越	ビナウォーク
		中部	カラフルタウン岐阜
		中国・四国	アリオ八尾
		九州・沖縄	イオンモール高知
第6回	地域貢献賞	大賞（倉橋良雄賞）	ポップタウン住道オペラパーク（近畿）
		北海道	赤れんがテラス
		東北	イオンモール天童
		関東・甲信越	南砂町ショッピングセンター スナモ
		中部	ラスカ熱海
		中国・四国	イオンモール倉敷
		九州・沖縄	鳥栖プレミアム・アウトレット

第5回	大賞（倉橋良雄賞）		トレッサ横浜（関東・甲信越）
	地域貢献賞	北海道	イオンモール札幌発寒
		東北	エスパル仙台
		中部	新静岡セノバ
		近畿	グンゼタウンセンターつかしん
		中国・四国	ザ・モール周南
九州・沖縄		マルヤガーデンズ	
第4回	大賞（倉橋良雄賞）		たまプラーザテラス（関東・甲信越）
	地域貢献賞	北海道	さっぽろ地下街オーロラタウン・ポールタウン
		東北	泉パークタウン・タピオ
		中部	アスナル金山
		近畿	あべのキューズモール
		中国・四国	イオンモール倉敷
九州・沖縄		木の葉モール橋本	
第3回	大賞（倉橋良雄賞）		イオンモール石巻（東北）
	地域貢献賞	北海道	4丁目プラザ
		関東・甲信越	ダイナシティ
		中部	T-FACE
		近畿	御影クラッセ
		中国・四国	高松丸亀町巷番街
		九州・沖縄	パークプレイス大分
特別賞		シーサイドタウンマスト（東北）	
第2回	大賞（倉橋良雄賞）		シーモール下関ショッピングセンター（中国・四国）
	地域貢献賞	北海道	新さっぽろアーキシティ サンピアザ・デュオ
		東北	盛岡駅ビル・フェザン
		関東・甲信越	丘の上プラザ
			ミウイ橋本
		中部	刈谷ハイウェイオアシス
		近畿	ニッケパークタウン
九州・沖縄		イオンモール宮崎	
第1回	大賞（倉橋良雄賞）		江釣子ショッピングセンター・パル（東北）
	地域貢献賞	北海道	イオン札幌平岡ショッピングセンター
		関東・甲信越	佐野プレミアム・アウトレット
			アルカキット錦糸町
		中部	フューチャーシティ・ファボーレ
		近畿	エコール・マミ
		中国・四国	アルパーク
九州・沖縄		ゆめタウン光の森	

Ⅲ. 協会の主な取り組み 2. 人材確保の取り組み

(1)人材確保対策特別委員会
**厳しさを増す人手不足の解消に向けて
 ES宣言の推進に取り組んでいます。**

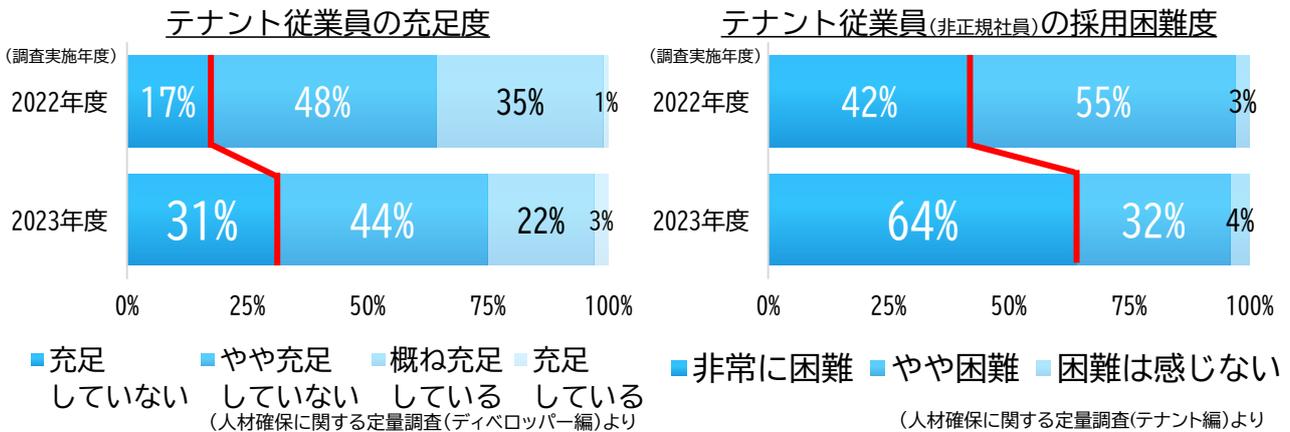
2015年度に「人材確保対策小委員会」を設置し、2018年1月にはテナント従業員のステータス向上と人材確保を目指した「ショッピングセンターにおけるES宣言・行動指針(以下、ES宣言)」を公表しました。

以後さまざまな情報発信等を通して、人材確保対策に取り組んできましたが、テナント従業員の人手不足はさらに厳しさを増しています。

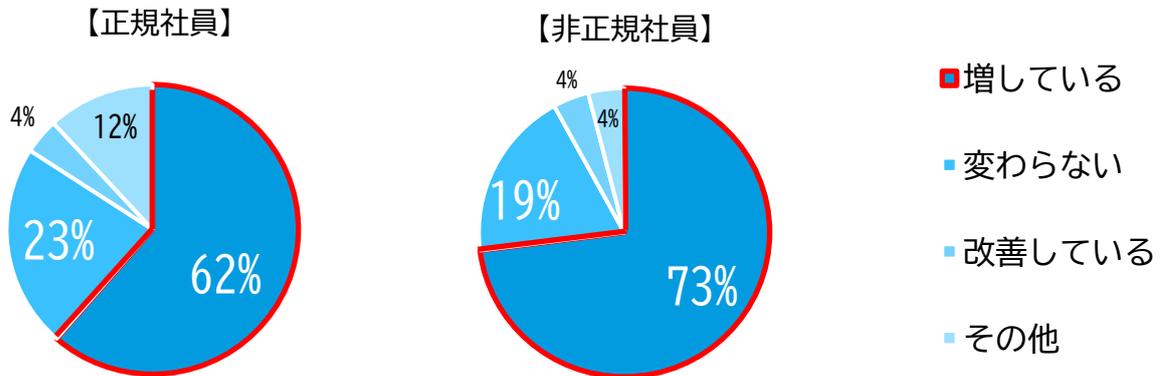
将来のさらなる人口減少を見据え、ES宣言を受けた取り組みをより一層強化しなければならないという認識のもと、当協会ではさらなる人材確保対策の推進に向けて、SC現場の優先課題を把握し、必要な対策についてスピード感をもって具体化することを目的とした「ディベロッパーとテナント企業による意見交換会」を2023年10月に立ち上げました。同意見交換会では、「すべてのSCにおいてディベロッパーとテナントが相互に納得感をもって、SC営業と人材確保対策を両立させている状態」を実現するため、各SCが重点的に取り組むべき項目について議論を重ねています。

(1) 厳しさを増す人手不足

当協会が会員向けに実施した調査の結果、2022年度と比較して、テナント従業員の採用、充足度共に悪化しています。また近年社会問題化しているカスタマーハラスメントも、約半数で前年から変わらず発生しており、「減少している」に比べて「増加している」と回答した企業が多くみられました。人手不足対策に加えて、従業員が安全に働ける環境の整備も必要な状況です。

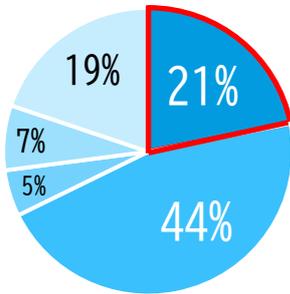


前年度と比較した採用困難度の変化

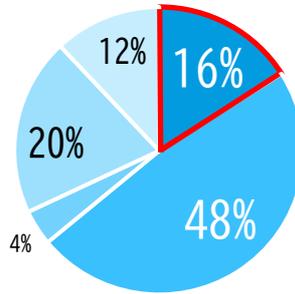


(前年比)カスタマーハラスメントの発生状況

【ディベロッパー回答】



【テナント回答】



- 増加している
- 変わらない(発生はしている)
- 減少している
- 発生していない(直近1年間)
- 把握していない

(人材確保に関する定量調査(ディベロッパー編・テナント編)より)

(2) 人手不足対策の推進に向けて ～ディベロッパーとテナント企業による意見交換会～

人手不足が厳しさを増す中で、ショッピングセンターにおけるES宣言・行動指針を受けた取り組みをより一層強化するため「ディベロッパーとテナント企業による意見交換会」を2023年10月に立ち上げました。

各々のSCは、地域・業種特性、従業員の労働環境等が異なることを前提に、「SCごとにディベロッパーとテナントが『対話』を実施」することを軸に、現在は重点的取り組みとして、以下の項目の深度化に取り組んでいます。

対話における重点項目	推奨する取り組み
営業時間の最適化	営業時間のフレックス制 閑散期の営業時間短縮 アイドルタイム休業 など
休館日の弾力的運用	元日休館 全館休業日数増 テナント任意休業日や半休 など
働く人に選ばれる環境の整備	従業員同士のコミュニケーション機会創出 従業員休憩室等の整備 業務の省力化やIT導入 など
安全に働ける環境の整備	災害時の早期判断・連絡体制 カスタマーハラスメントへの対応 夜間の従業員駐車場の安全確保 など各SCで点検し課題を抽出

(参考)ショッピングセンターにおけるES宣言・行動指針



ショッピングセンターにおけるES宣言

テナント企業の人手不足が厳しさを増しています。一般社団法人日本ショッピングセンター協会(以下、当協会)では2015年に人材確保対策小委員会を設置し、ショッピングセンター(以下、SC)におけるテナント従業員の人材確保対策について検討し、翌年5月に「人材確保対策の取組み」を発表しました。このなかで当協会の取組み事項を明確にするるとともに、ディベロッパー、テナント企業の取組み事項を整理し、SC業界として人材確保対策を推進しているところです。

そうしたなか、ディベロッパー、テナント企業はES(従業員満足)および人材確保の観点で、新たな取組みを始めています。テナント企業では、人事制度を見直して従業員の多様な働き方に対応する仕組みを構築し、ディベロッパー企業では、従業員休憩室の環境改善や、子育て中の従業員が安心して働けるよう事業所内保育所を設置する取組みが見られます。そして、SCの閉店時刻を早め、従業員の早期退社に積極的に取組むSCも出てきています。

SCは人々の暮らしを豊かにするサポートをしています。そこで働く従業員が、生き生きと働ける環境にすることは、ES向上や人材確保対策となり、ひいてはその従業員と接するお客様満足度の向上、地域の活性化につながります。

そこで、当協会は、人手不足が進むなか、テナント従業員のステータス向上と人材確保の一環として、下記のとおりSCにおけるES宣言を行います。

1. ES向上に向けたディベロッパーとテナントの積極的協力

SCで働く人々が生き生きと働けるように、ディベロッパー、テナントはSCの運営を担うパートナーとして互いに協力し、経営者の積極的なリーダーシップのもと、ES向上に取り組めます。

2. SCで働く魅力の向上と発信

SCで働く魅力を向上させるとともに、SCが地域において果たしている多様な重要な役割について広く一般の理解を増進し、意欲ある人々のSC業界への就労アクセスを拡大します。

3. 従業員のワークライフバランス確保と地位向上

SCで働く人々の健全なワークライフバランスを確保しつつ、お客様に喜びを届けるという仕事の価値にふさわしい処遇や職業能力の開発等に努めるとともに、多様な人々がその選択やライフステージに応じて柔軟に働ける環境づくりを目指します。

4. 従業員の業務負担軽減と生産性の向上

店舗運営に伴う付帯業務の省力化やIT技術の積極的な活用など、様々なレベルの改善、イノベーションに挑戦し、従業員の業務負担を軽減し、生産性の向上を目指します。

5. ES向上・人材確保に向けたSC協会の積極的関与

当協会は、ES向上、人材確保に向け、必要な広報、情報提供、能力開発、関係機関への働きかけ等各般の活動を展開します。

以上

2018年1月24日

一般社団法人日本ショッピングセンター協会

行動指針

「ショッピングセンターにおけるES宣言」を受けて、ディベロッパーとテナントはSCの運営を担うパートナーとして互いに協力しつつ、テナント従業員のES向上に向けて、当面、以下の課題に取り組むことを推奨する。当協会は、これを支援すべく所要の施策を持続的に講じるものとする。

記

1. SCビジネスフェアや就職サイトなどを通じて、SCの仕事の魅力を広報し、SC業界へのアクセスを広げるとともに、テナント従業員のステータス向上のため社会的な認知度を高める。また、外国人就労制限の緩和に向けて、関連団体と連携した働きかけを行う。
2. 従業員の賃金等の処遇については、他産業との均衡などにも留意しつつ、お客様に喜びを伝えるという仕事の価値にふさわしい適切な改善に配慮する。
また、年齢・性別・就労意識などに応じて多様な働き方が可能となるよう、地域限定社員など雇用形態の多様化、休憩室の充実、従業員の実情に応じた保育所や送迎バスの整備など安心のいく労働環境の改善に努める。このため、企業主導型保育所など地域の福祉政策にも資する政策支援への働きかけを行う。
3. 就労条件の重要な要素である労働時間については、週休2日制の普及や有給休暇の取得促進等を推進するとともに、近く強化される予定の「時間外労働の上限規制」(原則平時では月45時間)に適合した残業抑制が実現できるよう、施行日にこだわらず早期の取り組みを行う。
4. SCの営業時間や営業日数については、地域・業種の特性、従業員の労働環境に配慮しつつ、ディベロッパーとテナントは協力し、従業員の健全なワークライフバランスが十分図られるよう営業時間の短縮や休業日数増に配慮する。この場合、館内の区画・店舗ごとの営業時間の設定など弾力的な対応を考慮する。
5. バックヤード業務や店舗のクロージング業務の省力化や館内外の物流合理化などSC運営全体における労働生産性の向上を図るため、有益な作業マニュアルやITなどの新技術活用モデル事例の普及を図る。時間にとらわれない多様な業態の発達にかんがみ、SCは適切な営業時間や営業日数の設定だけでなくEコマースなどでは期待できないお客様サービスの深化など質的な差別化に努める。
6. これらの取り組みを支援するため、当協会は、情報や講習機会の提供、広報、モデルSC(店舗)の顕彰や紹介、ガイドラインの整備、公共政策への働きかけなど持続ある取り組みを行うとともに、必要に応じてフォローアップを行い、進捗を図るものとする。

以上

2018年1月24日

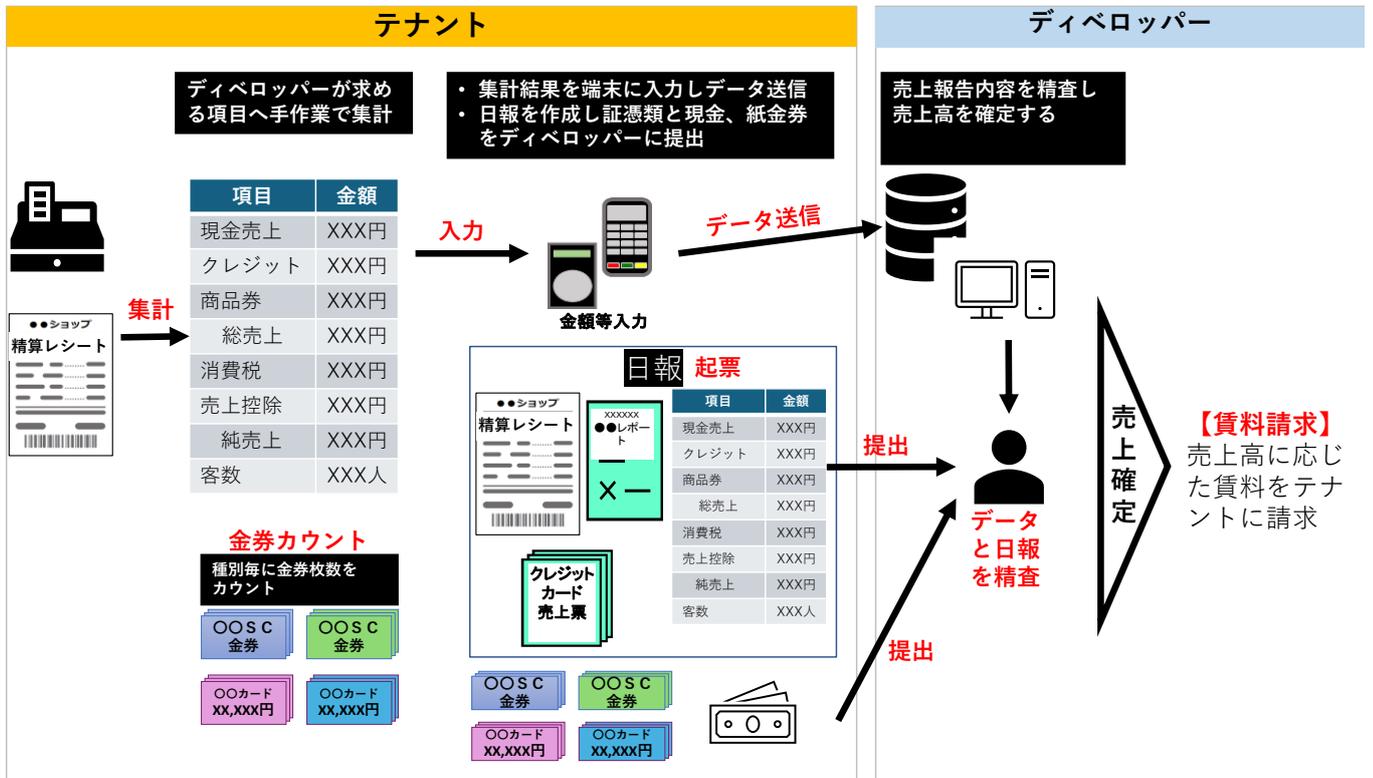
一般社団法人日本ショッピングセンター協会

(2)デジタルトランスフォーメーション委員会
「売上報告の効率化に向けた提言」を公表
 2024年5月に「売上報告効率化の提言」の第2弾を発表しました

当協会デジタルトランスフォーメーション（以下、DX）委員会は、SC業界における売上報告の効率化に向けて、2022年5月に第1弾の提言を発表し、この度2024年5月に提言の第2弾を発表しました。

【売上報告とは】

SCでは、テナントの賃料は売上歩合であることが一般的である。そのため、賃料計算のために、ディベロッパーはテナントの売上を把握する必要があることから、テナントは、毎日の営業終了後、その日の売上をディベロッパーに報告している。報告内容は、ディベロッパーにより差異はあるが、現金・クレジットカード・商品券等の金種別の売上高や、売上から控除する費目の取扱額、そして純売上など多岐に渡る。また報告方法は、売上報告のための端末によるデータ送信に加えて、証憑類を添えた紙の日報がある。報告を受けたディベロッパーは証憑類を用いて報告内容を精査し売上を確定する。



(1) 提言を発表するに至った背景と目的

人手不足が問題となるなかで、売上報告の業務効率化はテナント、ディベロッパー双方で課題意識が高い業務です。

DX委員会では2022年5月に第一弾となる提言を発表し、課題の整理、解決の機運醸成を図りました。その後、一部で効率化の動きはみられましたが、現在まで抜本的な解決に至っていません。

そこで、抜本的な解決に向け、第2弾として、2024年5月に業務標準化案をSC業界に提言しました。



(2) テナント従業員を取り巻く環境の変化とディベロッパーの課題

【テナント】テナント従業員の役割や業務量は増大。一方で慢性的に人手は不足。サービス維持向上のために少人数でマルチタスクを続けており、現場の負担軽減は待ったなしの状況。

	業務内容	補足
↑増加	接客以外の業務	EC関連業務、SNS運営など
↑増加	新サービスへの対応	キャッシュレス決済の多様化など
↑増加	お客様の声	カスタマーハラスメントの社会問題化など
↓減少	店舗従業員数	人手不足の慢性化など
↓減少	店舗内コミュニケーション	離職に伴う頻繁な入れ替り、懇親機会の減少など
↑増加	個々の業務量	上記の増減の総計

+

テナント全体で年間約280億円の多大なコスト

【ディベロッパー】2022年に第一弾の提言発表以降も効率化に向けた抜本的な解決には至らず

- テナントからの売上報告内容の精査に多大な時間を割いている
- 紙で提出される証憑類や金券の配送コスト、保管コストが発生している

(3) 売上報告業務標準化案の提言

1) 基本的な考え方

- テナント報告値を正とする思想へ転換
⇒純売上を構成する各項目の詳細確認をやめ、純売上や異常値確認に的を絞った確認とする
- その他、ペーパーレス（紙金券の電子化/廃止等）等、負担軽減に資する取り組み

2) 標準化案

①報告項目数の削減

従来、20程度あった項目を以下の4項目に絞り込み

No	報告項目	報告を求める背景、議論事項等
1	純売上	賃料計算の基礎数値のため 売上状況の把握・分析のため
2	商品券類	金券であり相互確認が必要なため
3	売上控除	売上対象外の金額把握のため
4	レジ客数	(賃料計算には影響しないが、) 集客状況の把握・分析のため

②その他負担軽減に資する取り組み

- ペーパーレス化の推進
 - ・ディベロッパー発行の紙金券の電子化/廃止
 - ・紙で作成、提出する日報の廃止
- ヒューマンエラーの最少化、早期発見の取り組み
 - ・テナント持ち込みレジとディベロッパーが貸与するクレジット等の決済端末の連携推進
(=会計時の二度打ちの解消)
 - ・クレジット等の決済端末の簡易照会機能の活用
 - ・精算レシートの表記統一
- ディベロッパーによる照合作業の見直し
 - ・全項目の精査/検算から、誤計上や異常値の確認に特化する手法へ移行

③今後の取り組み

- 2024年9月以降、売上報告の担当者を集めた勉強会を全国（仙台、東京、大阪、福岡）で開催。提言の普及に取り組みます。

(4) 業務のデジタル化に向けた取り組み

テナント従業員による売上報告業務時間ゼロを目標に、売上報告のデジタル化環境の整備に向けた議論に着手します。

IV. その他協会活動トピック 1. 第30回SC接客ロールプレイングコンテスト

第30回SC接客ロールプレイングコンテスト

第30回記念大会として開催、「SC接客日本一」を目指して9月より支部大会がスタート

(1) 「SC接客ロールプレイングコンテスト」とは

1995年度から開催している、**SC業界における全国規模の接客ロールプレイングコンテスト**です。

SC業界の一層の発展を願い、SC内店舗で働くテナントスタッフの資質向上を図り、お客様にいつまでも支持され、愛されるSCづくりを目指して接客の技術を競っています。

毎年9～11月にかけて、全国7支部（北海道、東北、関東・甲信越、中部、近畿、中国・四国、九州・沖縄）において8支部大会（関東・甲信越支部は東京大会、関東・甲信越大会の2大会）が開かれます。

「ファッション・物販部門」「食品・飲食・サービス部門」の2部門に分かれて競技を行い、各日で多くの優秀者を表彰するとともに最も優秀だった競技者1人※1が支部代表として選抜され、全国大会に出場します。

全国大会は毎年1月下旬に開催し、支部代表者のなかから栄えある「大賞」＝「SC接客日本一」を決定します。また大賞受賞者には併せて経済産業大臣賞が贈られる予定です。

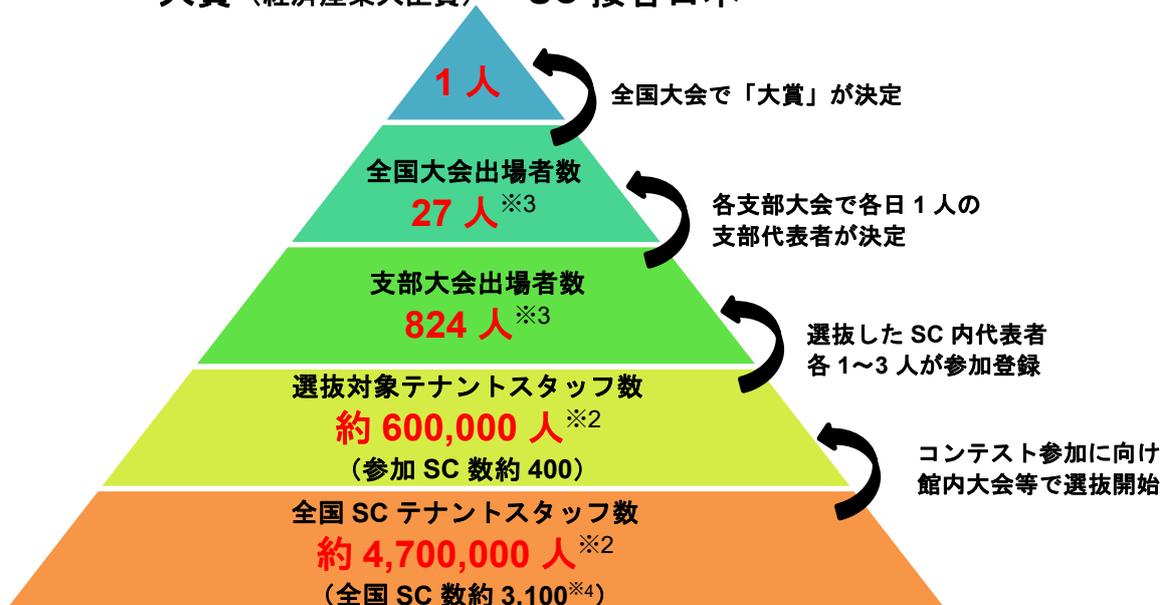
～全国のSCで働くテナントスタッフ約470万人※2の頂点を目指して～

本コンテストは、当協会の会員企業であるかを問わず、全国約3,100のSCすべてを対象として参加募集を行っています。

全国のSCで働くテナントスタッフ約470万人※2の頂点を目指し、多くのSCからディベロッパー主催の館内大会等で選抜されたSC内代表者が各支部大会に出場。そこで勝ち抜いた支部代表者が全国大会で競い合い、たった1人の「大賞」＝「SC接客日本一」が選ばれます。

【SC接客ロールプレイングコンテスト 全体イメージ】

大賞（経済産業大臣賞）＝SC接客日本一



※1 支部大会によって1日に2部門開催する場合は、各部門1人ずつ支部代表者を決定する。

※2 「全国SCテナントスタッフ数」「選抜対象テナントスタッフ数」は、1SCあたりのSC内テナントスタッフ数を「1,500人」として算出した概算となる。

※3 「支部大会出場者数」「全国大会出場者数」は2023年度（第29回）実績である。

※4 概算値のため、P10のSC総数とは差異がある。

(2) 第30回(2024年度)SC接客ロールプレイングコンテスト

2024年度「第30回SC接客ロールプレイングコンテスト」は、中部大会を皮切りに9～11月にかけて下記の日程・会場で開催し、会場の様子は2023年度に引き続きライブで映像配信する予定です。また第30回記念大会として、競技者、見学者にとって有意義なイベント等を企画しています。

記者の皆様におかれましても、各支部大会へのご来場をお待ちしております。

<支部大会スケジュール>

支部大会	開催日程	会場	対象都道府県
北海道	10月10日(木)	新さっぽろ アークシティホテル	北海道
東北	10月30日(水)・31日(木)	ホテル メトロポリタン仙台	青森、岩手、宮城、 秋田、山形、福島
関東・甲信越	11月5日(火)～8日(金)、 11日(月)・12日(火)	IMAホール (光が丘 IMA)	茨城、栃木、群馬、 埼玉、千葉、神奈川、 新潟、山梨、長野
東京	9月30日(月)～10月4日(金)	ムーブホール (サンポップマチヤ)	東京
中部	9月11日(水)～13日(金)	JRゲートタワー カンファレンス	富山、石川、岐阜、 愛知、三重、静岡
近畿	10月15日(火)～18日(金)	ホテル京阪京橋グランデ	福井、滋賀、京都、 大阪、兵庫、奈良、 和歌山
中国・四国	11月21日(木)・22日(金)	おかやま未来ホール (イオンモール岡山)	鳥取、島根、岡山、 広島、山口、徳島、 香川、愛媛、高知
九州・沖縄	9月26日(木)・27日(金)	西鉄ホール (ソラリアステージ)	福岡、佐賀、長崎、 熊本、大分、宮崎、 鹿児島、沖縄

参考) 前回(第29回)SC接客ロールプレイングコンテスト全国大会の様子



SC接客ロールプレイングコンテストサイト
https://www.jcsc.or.jp/sc_convention/roleplaying



IV. その他協会活動トピック 2. SCビジネスフェア 2025

第49回日本ショッピングセンター全国大会
SCビジネスフェア 2025

ビジネスチャンスの創出、そしてSC業界の課題解決につながる情報を発信

2025年1月、パシフィコ横浜にて「SCビジネスフェア 2025」を開催いたします。同フェアは、SC関係者が一堂に会する唯一の商談展示会です。

「出会い、発見、チャンス、そして未来へ。」の言葉を掲げ、ビジネスチャンスを創出するとともに、大きな岐路にあるSC業界に向けて課題解決につながる情報を発信いたします。

(1) 開催概要

- 会 期：2025年1月22日(水)～24日(金)10:00～18:00 ※24日(金)は10:00～17:00
 会 場：商談展示会+セミナー <パシフィコ横浜 展示ホール>
 講演+懇親パーティー（賀詞交歓会）(22日のみ) <パシフィコ横浜 アネックスホール>
 コンテンツ：商談展示会、講演

(2) 企画内容

①講演・セミナー

アネックスホールで開催する講演は、まちづくりや地方創生などをテーマにSC業界の発展の指針となる企画を予定しています。

展示ホールのセミナーは、出展企業のプレゼンテーションを中心とした多彩なテーマでこれからのSC業界の課題解決やヒントにつながるプログラムを提供します。

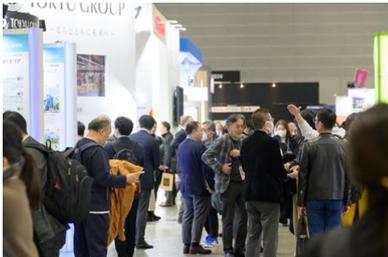
②注目のイベント

◇チャレンジピッチ

お客様の暮らしに寄り添う社会インフラとしてさらなる成長を目指し、また「リアルな場」だからこそ提供できる機能やより良い体験の進化を目指すべく、今回3回目となる「チャレンジピッチ 2025～NEXT SC～」では、スタートアップと事業会社を繋ぐピッチイベントを手がける、New Commerce Ventures(株) (※) との共催により開催いたします。

※同社は小売流通領域特化型のベンチャーキャピタルとして、スタートアップの成長支援およびスタートアップと事業会社の共創を推進する事業を行っている。定期的に100名超のスタートアップ、事業会社が参加するオープンイノベーション推進イベント『New Commerce Pitch』を開催。

参考) 前回 (SCビジネスフェア 2024) の様子



SCビジネスフェア 2025 サイト
<https://www.scbizfair.com>



IV. その他協会活動トピック 3. SC 経営士会

SC 経営士会

「SC の未来像の共創」に向けたアイデアソンを開催

「SC 経営士」は、SC マネジメントに関する唯一の認定資格で、約 830 人（2024 年 4 月時点）の SC 経営士がさまざまな SC のビジネスシーンで活躍しています。

SC 経営士資格保有者で組織する「SC 経営士会」は、SC 経営士相互の研鑽と交流のほか、SC 業界が抱える課題解決に向けた研究など、専門的な見地から協会のシンクタンクの役割を担っています。

(1) 研鑽・研究グループによる“SC の未来像”の研究

SC 経営士会 研鑽・研究グループでは、2021 年度後半から 2022 年度にかけて“アフターコロナを見据えた SC の未来像”をテーマに研究を実施し、①「マーケティング」、②「ESG」、③「DX・メタバース」、④「地域連携」、⑤「ディベロッパーとテナントの関係」の 5 つの切り口から SC が喫緊で取り組むべき課題を抽出し、その研究成果を動画形式にまとめて発信しました。

回	テーマ	カテゴリ				
		①	②	③	④	⑤
1	マーケティング・デジタルトランスフォーメーション	●		●		
2	テナントから見た今後の SC の在り方	●				●
3	SC における官民連携と地方創生事業の実践	●			●	
4	メタバース×SC～今、話題のメタバースを学ぼう！～	●		●		
5	新静岡セノバから学ぶ『テナント』『地域』と共に真剣に取り組むチャレンジングな事例<前編・後編>				●	●
6	コロナを経て変わる消費者心理・行動変容とは？<前編・後編>	●				
7	持続可能な SC 経営のヒント		●			
8	大和リバーサイドタウン Pio における超ローカル SC の底力～事業承継を経た次世代経営者たちの挑戦～				●	●

【SC 経営士会】全 8 回分の研究動画を公開中
https://www.jcsc.or.jp/sc_education/keieishi/sc-keieishikai



2023 年度は 10～12 月に全国 7 支部で実施した「協会創立 50 周年記念事業」において、これまでの研究成果の発表を行い約 500 名の方にご参加いただきました。

2 部構成からなるセミナーのなかで、第 1 单元では、SC 経営士会が研究活動として取り組んできた「アフターコロナを見据えた SC の未来像」について、その成果を発表しました。

第 2 单元では、SC 経営士会の研究活動をよりローカル視点で紐解くパネルディスカッションを行い、各地域における未来の SC 像を深堀しました。



(2) “SCの未来像”の共創へ SC経営士会独自のアイデアソン開催

2024年度は、今までの取組みを土台にSC経営士同士のアウトプットを重視した「アイデアソン」を実施いたします。

【アイデアソンとは】

「アイデア」と「マラソン」が掛け合わさってできた造語。

決められた時間のなかでグループごとにアイデアを出し合い、マラソンをするようにブラッシュアップさせ、結果を出す。たくさんのアイデアを出し、それらを良質なアイデアにまとめ上げる手法。

企業の枠を超えた参加者同士のアイデアの共創に加えて、参加者が自社における既存ビジネスの課題解決手法、新規事業立案手法について学びを深め、自社で既存のSCビジネスに変化を起こすイノベーションの起点となることで、SC業界の更なる発展に寄与することを目指します。

◇開催概要

①企画名：「アイデアソンでSCの未来をつくろう・かたろう」

②実施方法：

「アフターコロナを見据えたショッピングモールの未来像」で題材にした5つのテーマ（「マーケティング」「ESG」「DX・メタバース」「地域連携」「ディベロッパーとテナントの関係」）から興味関心・課題意識があるテーマに対して参加者が集まり、チームでの討議を経て、SCの未来に対する提案を行います。

その過程において、生成AIを活用することで、新たな視点・発想も取り込むことを意識していきます。最終的な取り組み成果については「SCビジネスフェア2025」での発表を予定しています。

③実施の流れ：

日程	実施事項
7月	参加エントリーの受付開始
9月20日(金)	参加者によるキックオフミーティングの開催 ・テーマ別によるグループ分け ・新規事業立案方法などアイデアソン実施に向けた事前研修
10月～1月	各チームによる個別討議ならびに中間進捗発表
1月	SCビジネスフェア2025において各チームによる成果発表

2024年度下期 主な行事予定

日程	イベント名	場所
11月19日(火) ～20日(水)	SC秋晴れトップフォーラム (会員企業の代表者、役員クラスによる研鑽と交流)	石川
12月24日(火)	2024年度冬季定例記者懇談会	東京
2025年 1月22日(水) ～24日(金)	第49回日本ショッピングセンター全国大会 ・SCビジネスフェア2025 ・第30回SC接客ロールプレイングコンテスト 全国大会(1月24日(金))	神奈川 (パシフィコ横浜)

※内容等を変更させていただく場合がございます。

【参考資料】

●ショッピングセンター（SC）の定義

ショッピングセンターとは、1つの単位として計画、開発、所有、管理運営される商業・サービス施設の集合体で、駐車場を備えるものをいう。その立地、規模、構成に応じて、選択の多様性、利便性、快適性、娯楽性等を提供するなど、生活者ニーズに応えるコミュニティ施設として都市機能の一翼を担うものである。

＜SC取り扱い基準＞

ショッピングセンターは、ディベロッパーにより計画、開発されるものであり、次の条件を備えることを必要とする。

- 1.小売業(物販)の店舗面積は、1,500㎡以上であること。
- 2.キーテナントを除くテナントが10店舗以上含まれていること。
- 3.キーテナントがある場合、その面積がショッピングセンター面積の80%程度を超えないこと。
ただし、その他テナントのうち小売業(物販)の店舗面積が1,500㎡以上である場合には、この限りではない。
- 4.テナント会(商店会)等があり、広告宣伝、共同催事等の共同活動を行っていること。

SCのイメージとしては、単体の施設ではなく複数の店舗の集合体であるとともに、1つの単位として管理・運営されている施設を指す。具体的な例としては、百貨店やGMS、SMなどを核とした大型商業施設やシネコン・ホテル・公共施設などを併設した複合施設、ファッションビル、駅ビルや地下街などがある。

またディベロッパーという言葉も、本来の不動産開発という意味よりはむしろ、SCを管理・運営する立場を指す場合のほうが現状では多い。

●一般社団法人 日本ショッピングセンター協会とは

日本ショッピングセンター協会は1973年4月、わが国のショッピングセンター（SC）の発展を通じて消費者の豊かな生活づくりと地域社会の振興に貢献することを目的に立ち上げられた。1975年4月には、社団法人として通商産業省（現経済産業省）から許可を受けた。その後2012年4月1日、内閣府から認可を受け共益的活動を中心として行う一般社団法人に移行した。

会 長	清 野 智	東日本旅客鉄道(株)	顧問
副 会 長	大 野 恵 司	イオンモール(株)	代表取締役社長
〃	大 林 修	三井不動産商業マネジメント(株)	代表取締役社長
〃	佐 野 公 哉	片倉工業(株)	相談役
〃	福 田 三千男	(株)アダストリア	代表取締役会長
〃	棕 本 充 士	(株)グルメ杵屋	代表執行役社長
専務理事	椿 浩	(一社)日本ショッピングセンター協会	

会員数（2024年8月1日時点）

第一種正会員 297社 第二種正会員 253社 賛助会員 369社 / 合計 919社

一般社団法人 日本ショッピングセンター協会 広報担当
〒112-0004
東京都文京区後楽 1-4-14 後楽森ビル 15 階
電話: 03-5615-8524 FAX: 03-5615-8539
mail: pr@jcsc.or.jp